

2005年9月11日（日）

大地に響けアジアの音 よさこいアリラン

出演：はなこりあ／シナウイ／朴保

2001年のアメリカ同時多発テロから5年目を迎えた9月11日。愛・地球博「地球市民村」の“大地の広場”にて、日本と朝鮮半島の民謡を融合した「よさこいアリラン」を踊る“はなこりあ”が、平和を願う華やかな踊りを披露した。

今回の公演では、「よさこいアリラン」を作詞・

ぼくぼく

作曲した在日コリアンのシンガー朴保さん、早稲田大学コリア伝統芸能遊戯団シナウイが共演。朴保さんの持ち歌と打楽器による演奏も行われた。

はなこりあの「はな」は日本語では「花」の意味だが、韓国語だと「一つ」という意味。国籍、民族、年齢など様々なメンバーが共に、朝鮮半島が分断されている事実を見つめ、争いのやまぬ世界に対して、平和の花を咲かせたいという願いを込めて踊り続けている。

当日2回目の公演では、踊り手さんたちの誘いに会場のお客さんたちものって一緒になって踊りだした。老若男女みんなが盛り上がり、アンコールもかかり、最後には会場が一体となり、大きな拍手に包まれた。

私たちのパビリオン「日中韓・環境見聞館」では、中国・韓国を中心に東アジアの環境情報を、さまざまな手法で伝えた。実は、環境分野だけでなく、日中韓、この3カ国が共に協力し合い、やらなければならない課題は少なくないと思われる。

この日、はなこりあの踊りを見て、平和で持続可能な社会を創るためにも、一人ひとりができることをやっていくことの大切さを思った。



朴保さんによる演奏



躍動感あふれる“はなこりあ”の踊り

“はなこりあ”メンバーから

みんなの気持ち「ひとつ」になる瞬間。あの一体感こそが、メンバーだけでなく観て下さった方、協力して下さった方に広がり、もっともっと沢山のひとと共有できたら……。 「はなこりあ」のメッセージが、世界中に広がることを願ってやみません。こんな素敵な機会を与えてくださった発信所の皆さまに、心より感謝いたします。（秋元雅子）

「最高のステージでした。アンコールに参加出来なかったのが惜しい！僕等と観客がひとつになって感動を共有出来たことの証が、あの鳴りやまぬ拍手だったんだと思います。観客のみなさんが少しずつ心を開いて楽しむ様子は花が開く様子に似てますね。はなこりあの可能性は無限です！」（ボブ）